

# Thailand-1

## Samrong D.C. (PHASE-II / PHASE-III)

創立 / 増設 / 増設 稼働中

### 竣工 DATA

竣工年月	1991 (平成3)年6月	1997 (平成9)年6月	2007 (平成19)年8月	
設計者	不明	SIAM SURELY	長谷川鉄工	
施工者	不明	SIAM SURELY	長谷川鉄工	
施設概要	敷地面積	不明		
	延べ床面積	5,066.12㎡	4,875.00㎡	4,875.00㎡
	構造	S造1階建の内部に断熱パネルにて建築	S造1階建の内部に断熱パネルにて建築	S造1階建の内部に断熱パネルにて建築
	プラットホーム	密閉型低床式	密閉型低床式	密閉型低床式
収容能力	防熱方式	断熱パネル工法	断熱パネル工法	断熱パネル工法
	総トン数	7,000t	6,000t	7,000t
	SF級	×	×	×
	セミ超	×	×	×
	F級	13,440t		
	C級	×	×	×
	C&F	6,560t		
	定温	×	×	×
	凍結	×	×	×
	冷却設備	施工者	I.T.C	SIAM SURELY
冷凍機メーカー		GEA	長谷川鉄工	長谷川鉄工
主要冷凍機		スクリーウ冷凍機	高速多気筒冷凍機	高速多気筒冷凍機
冷媒		アンモニア	アンモニア	アンモニア
冷却方式		集中式・強制循環式・ユニットクーラー	集中式・強制循環式・ユニットクーラー	集中式・強制循環式・ユニットクーラー
		荷別室低温化	+10℃	+10℃
その他設備				



2号棟 6,000<sup>ト</sup> [1997 (平成9)年]



3号棟 7,600<sup>ト</sup> [2007 (平成19)年]



1号棟 7,000<sup>ト</sup> [1991 (平成3)年]



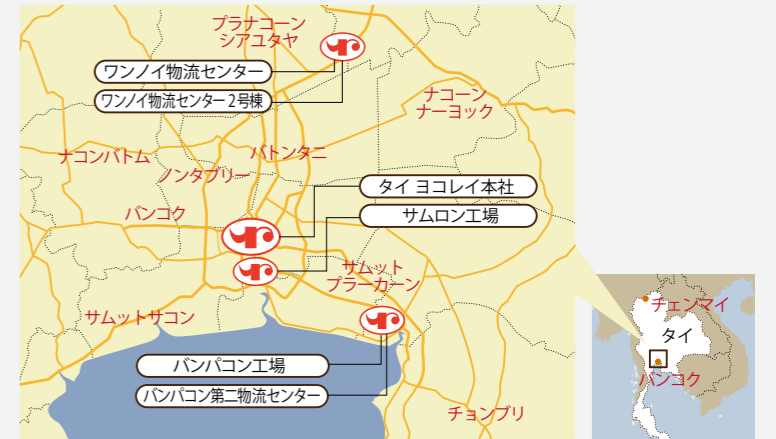
サムロン工場 (会社看板)



庫内作業

### column タイにおける事業展開

- 1989年 タイヨコレイ株式会社設立
- 1991年 サムロン工場完成
- 1992年 バンパコン工場完成
- 1997年 サムロン工場増設
- 2006年 横浜冷凍(株)の連結子会社に
- 2007年 サムロン工場増設
- 2011年 ワンノイ物流センター完成
- 2011年 Best Cold Chain Co.,Ltd (BCC) 設立
- 2013年 YOKOREI Co.,Ltd.設立
- 2014年 ワンノイ物流センター 2号棟 完成
- 2015年 バンパコン第二物流センター完成
- 2020年 現在94,560<sup>ト</sup>



## 微笑みの国 THAI Bangkokへ わくわく! ドキドキの海外初進出!!

サムロン工場はチャオプラヤ川沿いに建てられたコンクリートブロック造・スレート屋根の普通倉庫の建屋の中に、断熱パネルで建てた、タイヨコレイ最初の冷蔵倉庫です。

倉庫の床下にも川が流れていて、元々は上流域から運ばれて来る米を保管する米倉だったところ

です。スレート屋根と冷蔵倉庫天井を

構成している断熱パネルとの空間が非常に広く、気温が高くなっても換気が良いため、断熱パネルに結露が発生せず、冷蔵倉庫内の温度も適正に維持されています。

冷却設備は、1号倉庫はGEA社製Model 132E (アメリカ)のスクリーウ冷凍機で、2号、3号倉庫は長谷川鉄工製の高速多気筒式。すべてアンモニアの強制循環式で、冷却状況は良好です。

タイ人工務スタッフは冷凍機の知識もあり、日本と同等の技術を持ちながらメンテナンスを行っています。日本人が持つ知識や技術を吸収する意欲が高く、さまざまな質問をされ、日本人が手本をみせて教えることは多いですが、時には分解整備作業を一緒に行う中で、反対に現地スタッフから技術を学ぶことも多々ありました。

### 豆辞典 大メコン圏 (GMS: Greater Mekong Subregion) 経済協力プログラム

具体的には、経済開発の基盤となる、国境を越えたハードインフラ整備(道路・通信・電力)、また、域内物流や国際貿易の円滑化・簡素化、越境交通協定(CBTA)などを含むソフト整備・実施を目指すためのプロジェクトが中心に展開されている。

特に交通分野(道路整備)については、主要都市の国際的な連結推進のために、9つの地域経済回廊が特定されている。このうち、右図に示す通り、南北・東西・南部経済回廊の整備が優先的に行われ、アジア開発銀行(ADB)や二国間ドナーの協力の下、回廊を構成する既存の主要幹線道路の改修・拡張事業、また、国境を繋ぐ国際橋架橋建設等が進められている。

2013 (平成25)年に中国が打ち出した「一帯一路」構想においても、2つの経済回廊は非常に重要なルートであり、政府主導で工業団地開発や高速鉄道網のプロジェクトが進められている。

1992 (平成4)年からADBの主導により、インドネシア半島メコン川流域の、タイ、カンボジア、ラオス、ベトナム、ミャンマーの5カ国と中国の一部(雲南省、広西チワン族自治区)を対象に実施されている経済協力プログラム。

陸続きであるメコン地域諸国を一つの投資・生産市場として、有

機的な繋がりを形成することで、総面積約260万km<sup>2</sup>、人口約3.3億人を擁する該当地域の成長ポテンシャルを高めるために、インフラの整備・改良を優先的に整備し、域内貿易・投資の促進、経済発展に資することを目的としている。

